

## 甲府警察署協議会 令和8年度第1回定例会議 議事概要

開催日	令和8年5月8日（金）
開催場所	甲府警察署大会議室
出席者	協議会 会長及び委員 9名 警察署 署長、副署長、課長等 13名
議事概要等	<p>1 令和8年1月から3月までの業務推進状況（各課長説明）</p> <p>(1) 会計課関係</p> <p>ア 遺失物・拾得物の取扱状況</p> <p>イ 主な支出経費</p> <p>(2) 警務課関係</p> <p>ア 警察官採用募集活動の推進</p> <p>イ 「命の大切さを学ぶ授業」の開催</p> <p>ウ 広聴事案の受理状況</p> <p>エ 警察安全相談の受理状況（1月～3月）</p> <p>(3) 留置管理課関係</p> <p>ア 収容状況等</p> <p>イ 留置場内の設備点検等の推進</p> <p>ウ 実践的教養・訓練の実施</p> <p>(4) 生活安全課関係</p> <p>ア 人身安全関連事案の認知、検挙状況</p> <p>イ 声掛け事案等の認知、検挙・指導警告状況</p> <p>ウ 主な犯罪抑止対策</p> <p>(5) 地域課関係</p> <p>ア 祭典警備実施状況</p> <p>イ 山岳遭難発生状況</p> <p>ウ 諸施策の推進</p> <p>(6) 刑事第一課関係</p> <p>ア 犯罪情勢</p> <p>イ 主要事件検挙状況</p> <p>ウ 教養・訓練等</p> <p>エ 検視取扱状況</p> <p>(7) 刑事第二課関係</p> <p>ア 知能犯罪認知件数</p> <p>イ 告訴・告発件数</p> <p>ウ 主な事件検挙</p>

(8) 組織犯罪対策課関係

- ア 電話詐欺被害の発生状況
- イ 事件検挙人数
- ウ 主な事件検挙
- エ 暴力団対策

(9) 交通課関係

- ア 交通事故発生状況
- イ 主な事件事故検挙（逮捕事案）
- ウ 交通安全対策の実施状況

(10) 警備課関係

- ア 災害対策訓練の実施
- イ 災害講話の実施
- ウ 要人警護・警備

2 意見・要望等

- (1) 警察安全相談で、男女間トラブルの相談等はどのくらいあるのか。また、電話詐欺の相談はどのくらいあるのか。

【回答】

1月から3月の相談件数103件中、男女間トラブルによるものは38件で昨年より+2件である。

また、電話詐欺は9件認知している。

- (2) 刑法犯の認知件数が増えたとのことであるが、何が増えたのか

【回答】

不同意わいせつ、盗撮が増えた。

これは、相談で受理したものについても事件化したことによる

- (3) 命の大切さの授業について、被害者からの話を聞くこともいいが、匿流など犯罪を犯した側の話を若い人たちが聞いてはどうか  
犯罪者の話の方が若い人たちの心により響き犯罪防止につながるのではないか。

【回答】

意見を参考に検討します。

- (4) 警察官の採用募集について、希望者が集まるのか。

【回答】

給与面などから一般企業を希望する人が多いが、その中で当署としては採用から5年未満の職員を中心にリクルーターとして指定し、母校訪問などを通じて在校生に対する

募集活動を実施している。

また、柔道の指導等を通じて募集活動を行っている。

- (5) 採用倍率が下がると優秀な人材確保が難しいと思うが、甲府署に配置された若手職員への指導、支援はどのようにしているか。

【回答】

取り組みの一つとして、先輩警察官と若手警察官でペアを組ませ、警察活動の一つである職務質問等を通じて犯罪検挙につなげる実践指導を行いスキルアップを図っている。また、若手警察官それぞれの得意分野で活躍できるよう指導を行っている。

- (6) 経験を積み一人前になった時期に退職してしまう人が多いと感じるが、警察はどうか。また、30代40代でも警察官になれるのか。

【回答】

警察官とは別の仕事に就きたい等、個々それぞれの理由で退職する者はいる。

年齢が上の方でも社会人枠での採用がある。

- (7) 去年は飲酒運転が多かったようだが、今年は飲酒運転が増えているのか。

【回答】

昨年、飲酒が関係する事故は多かった。

今年3月までは昨年同時期に比べ6件と取締り等の対策の効果が表れてきており、発生件数も少しずつではあるが減っている。

- 3 甲府警察署速度取締り指針  
各委員から意見・要望等なく、承認された。